

## 技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門 建設 部門
問題番号	R5 II-1-4	選択科目 鋼構造及びコンクリート 科目
答案使用枚数	1 枚目 枚中	専門とする事項

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1	. 寒中コンクリートとして施工する気象条件 日平均気温が4℃以下になることが予想される場合。 凝結・硬化が著しく遅延し、コンクリートが凍結する 恐れがある。
2	. 品質を確保する上での留意事項と対策
1)	材料
①	セメントは早強ポルトランドセメントまたは普通ポ ルトランドセメントを用いる。
②	凍結、氷雪の混入した骨材はそのまま使用しない。
③	混和材は低温で使用した場合でも安定した品質のコ ンクリートが得られるものを選定する。
④	材料を加熱する場合は水または骨材を加熱する。セ メントは直接加熱してはならない。
2)	運搬及び打込み
①	練り混ぜ開始から打ち込むまでの時間を短くし、保 温対策を行ってコンクリートの温度低下を防ぐ。
②	打ち込み時のコンクリート温度は、構造物断面寸法 や気象条件を考慮し5～20℃の範囲に保つ。
③	打ち込み時に鉄筋や型枠に氷雪が付着させない。
④	打継目のコンクリートが凍結している場合には、適 切な方法で溶かした後打ち込む。
⑤	打ち込まれたコンクリートは露出面が長時間外気に さらされないようにする。
	以上

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24字×25字